

## 高大接続におけるアウトカムとは

### — 入学者選抜の評価指標とその改善 —

定員 20名



#### 目的

本研修会では、高大接続改革が何を目指しているかをアウトカムとして明確化し、高等学校と大学が共有すると共に、特に接続を担う入試において、どのような評価指標を通して入学者の選抜を行おうとしているか、また、そのことが高等学校教育にもたらす影響について議論し、よりよい接続に向けた改善を目的とします。

#### 内容

本研修会では、まず、「アクティブ・ラーニング」という学生・生徒の学びの姿勢を一本のアウトカムとして捉える意味で、アクティブラーニングの方法論、その効果をジグソー法を用いて体験してもらいます。その後、高大接続、入試制度改革が求めるもの、評価方法等を事例を挙げて紹介し、今後の高校教育のあるべき姿を模索していきます。

日時

10月5日 金

14:00~17:00

場所

九州工業大学  
サテライト福岡天神  
in 天神イムズ 11F

#### スケジュール

14:00~14:05	開 会
14:05~15:30	講演・実習
15:30~15:40	休 憩
15:40~16:15	講 演
16:15~16:25	休 憩
16:25~17:00	ディスカッション

#### 講演・実習

14:05 ~ 15:30

#### アクティブ・ラーニング

講師： 近藤 秀樹 助教（学習教育センター）

アクティブ・ラーニングの代表的な手法の一つである、ジグソー法について紹介する。具体的な実践手法について解説し、実際に用いられている授業計画に基づいてジグソー法の体験を行う。

#### 講 演

15:40 ~ 16:15

#### 大学入試で総合的且つ多面的な評価が用いられるのは何故か？ -九州大学の経験から-

講師： 木村 拓也 准教授（九州大学 人間環境学研究院 教育学部門）

九州大学は2000年からAO入試を導入し、はや18年を迎えました。その間、AO入試はどう評価されてきたのでしょうか？その後の学生の学びはどう評価されてきたのでしょうか？特に、21世紀プログラムでの経験をもとに、総合的且つ多面的な評価に基づく大学入試が、学内に与えてきた影響についてお話しします。

#### ディスカッション

16:25 ~ 17:00

#### 高大接続改革の状況・取組事例の紹介

パネリスト： 木村 拓也 准教授（九州大学 人間環境学研究院 教育学部門）

進行： 安永 卓生 教授（九州工業大学副学長（入試・広報担当））

これまでの講演内容を踏まえた上で、高大接続改革に関する今後の課題について議論し、その理解を深めます。

●申込締切／平成30年 10月1日（月）17:00（なお、定員20名になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。）

■企画・お問い合わせ 九州工業大学 情報工学部 連携教育推進室 TEL0948-29-7509（受付担当）

■お申し込み 裏面の申込用紙に該当事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX0948-29-7517



# 高校教員対象研修会

「高大接続におけるアウトカムとは  
— 入学者選抜の評価指標とその改善 —」

## 申込用紙

九州工業大学大学院情報工学研究院宛

受付FAX番号 **0948-29-7517**

**申込締切／平成30年10月1日（月）17:00**

下記、該当事項を記入の上、上記FAXにてお申し込みください。

高校名
連絡先電話番号
FAX

### 参加教員情報

(ふりがな)  
**1** 氏名

(ふりがな)  
**2** 氏名

(ふりがな)  
**3** 氏名

(ふりがな)  
**4** 氏名

(ふりがな)  
**5** 氏名

■お問い合わせ 九州工業大学情報工学部連携教育推進室 TEL0948-29-7509（受付担当）

